

12 最古の四国遍路道を活かす ～歴史的遺産の魅力を発信して地域活性化～



加茂谷へんろ道の会 / 阿南市 徳島県 阿南市

1 社会資本の概要

弘法大師・空海ゆかりの八十八箇所の霊場を巡る四国遍路は、四国を全周する1,400kmにも及ぶ巡礼の道で、遍路道は1200年の歴史を超えて現代に継承されています。

阿南市加茂谷地区には未舗装で奇跡的に当時のまま残る遍路道「かも道」「太龍寺道」「いわや道」が存在しています。平成22年に「太龍寺道」が初めて国史跡「阿波遍路道」に指定され、平成25年には

長期間廃道だった「かも道」が徳島県と阿南市による整備で復活し、平成26年には「龍の窟」と呼ばれた鍾乳洞跡へ太龍寺から向かう「いわや道」を地域の協働で復活させました。

また、「かも道」には南北朝時代の貞治4年(1365年)の年号が刻まれた「丁石」(1丁間隔に置かれた道しるべ)が残り、四国最古の遍路道の証しとなっています。



舎心嶽の岩上に坐る空海像



最古の遍路道の証し「丁石」



歩いて巡る太龍寺への遍路道

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

地域住民には単なる生活道であった「かも道」が、四国遍路最古の遍路道として価値のある古道だと知ったことで、加茂谷地域の住民が「地域の歴史的な宝となった遍路道」を生かした地域の活性化を目指そうと集まり、「加茂谷へんろ道の会」を平成25年に発足させました。

活動当初は遍路道の日常的な管理(枝打ち、下草刈り、危険箇所の見回りなど)と、台風通過直後

の点検や倒木・落石の除去から開始しました。現在は文化財としての価値を損ねない施設補修や、利用者の安全利用を支援する安全対策や案内標識の設置にも取り組んでいます。また、遍路道ガイド活動やウォークイベントの開催、SNSによる活動紹介、広報誌やマップの発行、地元小学校の環境学習や大学生のインターシップに協力することで加茂谷地域全体の魅力を発信しています。



巨大倒木の除去



石柱説明を記した案内標識



大学生のインターンシップ活動

3 活動の成果や波及効果等

各種イベントには県外を含む多くの方々に参加頂き、関係人口が拡大しています。また、活動を進める中で、小中学校の総合学習や野外活動への協力や、地元企業の新規採用職員との交流の場が増加しています。これまでは地域内の高齢者が活動の中心でしたが、若い方々との協働で「新たなやりがい」が得られ、次世代への継承意識も高まっています。

四国全域が協働する「四国遍路道の世界遺産登録」の取組において、地域が主体となった良好な事例として評価され、様々な地域づくり団体からの整備・保全手法に関する視察が増加しています。



あなん遍路おもかげウォーク



住民参加のお接待「にっき餅」作り



小中学生の総合学習支援



マスコミ取材への協力

喜びの声



受賞者
加茂谷へんろ道の会
会長
横井 知昭

コメント

十年間、活動に関わってきた仲間と受賞の喜びを分かち合っています。四国遍路道に関わる活動では、四国で初めての受賞です。地道な活動が認められたことに地元の皆さん、四国四県の関係者から賞賛の言葉を戴いています。今後とも、地域の歴史遺産を守り、その魅力発信活動を続けることで、地域の元気、活性化につながると信じて活動を進めます。加えて、四国遍路の世界遺産登録推進にも弾みがつけば、なお幸いです。

活動の内容

- 遍路道の保全整備(掃除・補修・倒木処理など)
- 遍路道ガイド
- 魅力発信の広報活動
- 遍路道ウォークイベントの開催
- 小中学校等の学びの活動への参画

活動の経歴

- 平成25年 加茂谷へんろ道の会設立
- 平成26年 あなん遍路おもかげウォーク開始
- 平成29年 とくしま環境県民会議表彰受賞
とくしまボランティア賞奨励賞受賞
- 令和2年 ウォーキングワークイベント開始
- 令和4年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

所在地 徳島県阿南市加茂町・水井町・大井町

活動主体及び連絡先 加茂谷へんろ道の会 TEL:090-4781-6832
阿南市建設部土木課 / 市民部文化振興課 TEL:0884-22-1782
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hennromiti/>

対象となる社会資本 遍路道(かも道・太龍寺道・いわや道) / 市道若杉線

